

ようこそ岡山県立博物館 「吉備の国歴史探検ツアー」へ!

～3年間のおゆみ～



岡山県マスコット
ももっち

岡山県立博物館
〒703-8257 岡山市後楽園1-5
TEL:086-272-1149
FAX:086-272-1150
URL <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>



- 平成18年度 津山コース **誕生寺**
- 平成20年度 鏡野コース **長福寺**
- 平成19年度 美作コース **両宮山古墳**
- 平成20年度 新見コース **吉備津神社**
- 平成19年度 真庭コース **足守藩侍屋敷**
- 平成19年度 備前コース **門田貝塚**
- 平成18年度 井原コース **矢掛本陣**
- 平成20年度 笠岡コース **藤戸寺**
- 平成18年度 高梁コース **造山古墳**

岡山県立博物館



源平合戦の地を訪ねて

「吉備の国歴史探検ツアー」3年間のあゆみ・報告集発刊にあたり

岡山県立博物館では、平成18年度より3力年の計画で「吉備の国歴史探検ツアー」を実施しました。

この事業は、各年度に3コース、合計9コースを実施しました。日頃、県立博物館を訪れる機会の少ない県内の諸地域の子どもたちを対象に、本館の学芸員が添乗したバスで、岡山県内の歴史文化遺産を見学するとともに、県立博物館を訪れ、岡山県の歴史や文化に対する学習を深めてもらうと計画しました。

この3年間、各コースで巡った史跡を、子どもたちは驚きの声をあげ、目を輝かせながら見学しました。造山古墳は汗をかきながら登り、足守藩の侍屋敷では武士の時代に思いをめぐらせ、また、吉備津神社の荘厳な姿に感動しました。

各コースは、1時間あまりの史跡見学を終え、県立博物館を訪れます。ほとんどの子どもたちが県立博物館は初めてということもあり、見るものすべてが発見でした。岡山県の歴史と文化を今に伝える展示資料を前に、子どもたちは一生懸命にスケッチを描き、お気に入りを選びます。

まだまだ時間が足りないと、もう一度展示室まで走り出したり、学芸員に何度も質問したりするなど、ほんの短い時間の中で子どもたちが見せてくれた一生懸命な姿は本当にほほえましいものでした。

今年度でこの事業はひとまず終了しますが、県立博物館では、今後も、子どもたちとの出会いを通し、岡山県の歴史と文化を広く発信していく事業を継続していきます。

この報告書は、3年間の活動の成果をまとめたものです。各学校で活用していただき、一人でも多くの子どもたちが岡山県の歴史に思いを廻らせ、将来の岡山県の歴史と文化の担い手として成長してくれることを願って止みません。

最後になりましたが、この3年間のツアー実施にあたり、御協力いただきました関係諸機関、関係各位、並びに参加児童生徒、保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成21年3月

岡山県立博物館長 芦田和正

吉備の国歴史探検ツアー 3年間でたどった史跡と各コースの紹介

平成20年度

笠岡コース 源平合戦の地を訪ねて

6月27日(金)

笠岡市立城見・陶山小学校6年生

城見小学校へ集合・出発式➡倉敷市藤戸寺と周辺を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡小学校へ到着して解散式

新見コース

国宝の神社を訪ねて

7月11日(金)

新見市立菅生・上市小学校5年生・6年生

上市公民館へ集合・出発式➡岡山市吉備津神社を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡公民館へ到着して解散式

鏡野コース

県下最古の三重塔を訪ねて

10月23日(木)

鏡野町立鶴喜・香北小学校5年生・6年生

鶴喜小学校へ集合・出発式➡美作市長福寺を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡小学校へ到着して解散式

平成19年度

備前コース

弥生の暮らしを知ろう

5月30日(水)

備前市立西鶴山・東鶴山小学校6年生

西鶴山小学校へ集合・出発式➡門田貝塚と邑久郷土資料館を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡小学校へ到着して解散式

真庭コース

武士の暮らしを見てみよう

6月29日(金)

真庭市立河内小学校5年生・6年生

小学校へ集合・出発式➡近水園・旧足守藩侍屋敷を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡小学校へ到着して解散式

美作コース

大きな古墳を歩いてみよう

10月4日(木)

美作市立英田小学校6年生

小学校へ集合・出発式➡両宮山古墳・備前国分寺跡・牟佐大塚古墳を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡小学校へ到着して解散式

平成18年度

高梁コース

古代吉備王国をめぐる

5月21日(日)

高梁市内小学生・中学生

備中県民局高梁支局へ集合・出発式➡造山古墳を見学➡岡山県立博物館を見学➡吉備路を見学➡バス内で学習のまとめ➡高梁支局へ到着して解散式

津山コース

鎌倉仏教にふれる

7月9日(日)

津山市内小学生・中学生

津山文化センターへ集合・出発式➡久米南町誕生寺を見学➡岡山県立博物館を見学➡備前国分寺跡・両宮山古墳を見学➡バス内で学習のまとめ➡津山文化センターへ到着して解散式

井原コース

近世山陽道をたどる

8月26日(土)

井原市内小学生・中学生

井原市役所へ集合・出発式➡矢掛旧矢掛本陣を見学➡岡山県立博物館を見学➡バス内で学習のまとめ➡井原市役所へ到着して解散式



お寺の歴史と合戦のことを
くわしく教えてもらいました。

源平の戦いには、
いろいろな合戦が
あったのだなあ。



ほうびをわたさずに
口ふうじのために
命をうばってしまった。
勝つためにはこんなことも
あったのだなあ。

藤戸寺とまわりの史跡

平家滅亡後、戦いの功せきにより児島の地を領地とした佐々木盛綱は、合戦で荒れたこの寺を修理するとともに、源平両軍戦没者の霊をとむらいました。その際、藤戸海峡の浅瀬を教えてくださいのに切り殺してしまった漁師の供養のためにこの寺で大法要を行い、境内に供養塔(県指定重要文化財)を立てたそうです。また、近くには漁師の霊をとむらってお経を埋めたという経ヶ島も残っています。



盛綱像を初めてみたよ。
馬に乗り矢を持つ姿は
迫力があつた。



佐々木盛綱の
銅像が
かっこよかった。



お堂の鐘をみんなで
つきました。

盛綱像の東に
小さな丘があつた。
「浦の男」(漁師)の
供養のためお経が
埋めてあるんだ。



藤戸の合戦という
戦いのほかに
水島合戦という戦いが
あつたことも
知りました。



ぼくたちも経ヶ島の
てっぺんに登ってみました。

笠岡市立城見・陶山小学校6年生

新見
コース
H20.7.11

国宝の神社を訪ねて



天井が高く、木の組み合わせがすこかった。

空気がすきとおるような感じがしました。



大きなしゃもじがあったよ。



鬼のお面も大迫力。

お釜殿は黒くてきれいだった。

廊下(回廊)が400メートル。



階段、数えてみたら83段もあった。



吉備津神社

古代には吉備国の、平安時代以降は備中国の一宮です。祭神は温羅と戦って勝利し、吉備を平定した吉備津彦命とその一族の神々です。平安時代から、全国的に有名な神社だったようです。今の本殿・拝殿は室町時代の1390年に光厳天皇が、室町幕府第3代将軍の足利義満に命じ、1425年に再建されたもので、国宝に指定されています。本殿の屋根は「比翼入母屋造」といわれ、「吉備津造」とも呼ばれる立派なものです。



本殿がとてもきれいで、ひのきのいいかおりました。

立派に屋根が葺き替わりました。とてもきれいでした。

神社の屋根はひのきの皮だけで造られていてすこいと思いました。竹釘をさして大工さんは長い時間をかけて造ったんだなと思いました。



新見市立菅生・上市小学校
5年生・6年生



鏡野
コース
H20.10.23

県下最古の三重塔を訪ねて



三重塔は真っ赤できれいでした。

長福寺の三重塔

長福寺の三重塔は、岡山県の塔建築の中で最古の歴史をほこり、国の重要文化財に指定されています。建てられたのは今から700年以上前の鎌倉時代で、当時は背後の真木山の山頂にありました。昭和3年にまず長福寺本堂が現在の場所に移され、昭和26年に三重塔も解体後今の場所に移されました。柱はケヤキで造られていて、屋根は柿葺きという技法で造られています。柿葺きは、薄い木の板を何枚も重ねて敷きつめる技法で、複雑な形の屋根でも葺くことができるのが特徴です。この三重塔の1/10の模型が、県立博物館に展示されています。



三重塔よりも上の方に60もお寺があったことを知ってびっくりしました。



三重塔にはくぎをいっさい使ってないそうだ。

月にうさぎがいるお話は日本が最初だと思っただけど、本当はインドが最初だったんだね。



中には仏様が4体ありました。

中は暗かったけど面白かったです。

仏様にもいろいろな役割があるんだと知りました。



不動明王には8人のけらいがいて人々のために仕事をしているんだね。



ぼくたちは実物の塔の中に入って、博物館ではミニチュアの塔をスケッチしたよ。



鏡野町立鶴喜・香北小学校5年生・6年生

笠岡
コース
H20.8.27

笠岡市立城見・陶山小学校6年生

博物館の 様子



鏡野
コース
H20.10.23

鏡野町立鶴喜・香北小学校5年生・6年生



新見
コース
H20.7.11

新見市立菅生・上市小学校5年生・6年生





備前
コース
H19.5.30

弥生の暮らしを知ろう

- ハイガイやヤマトシジミを食べてみたい。
- 石臼で稲を刈ってみたい。
- 土器で煮て昔の食事をつくって食べてみたい。
- 竪穴住居で暮らしてみたい。

タイムスリップ!!

昔のおうちは?

- 雨を通さず、夏涼しくて冬あたたかい。
- 柱は6本、床は地面より低く、たたみ10畳ぐらい。
- 「ろ」で火をたいて燃えうつることもあった。



貝塚って?

- 「すてた場所」というより「ほうむった場所」という感じ。
- 生活のゴミや土器のかけらなどが入っていて、当時の生活がよくわかる。
- 花粉の化石を調べて、当時どんな木があったのかまでわかる。



備前市立西鶴山・東鶴山小学校6年生



瀬戸内市 邑久郷土資料館

真庭
コース
H19.6.29

武士の暮らしを見てみよう

- はかまをはいて、かみしも付けて、ゆっくり花を見ながら団子を食べ散歩したい。
- 武士の服を着てみたい。
- かごに乗ってみたい。
- 大きな屋敷に住んでみたい。

タイムスリップ!!



侍屋敷って?

- 殿様だけが通れるおなり門があった。
- 押し入れがなく、一番奥に内蔵がある。
- 仏間は武士が切腹するところだった。
- 実が食料になるしいの木を植えていた。



岡山市 県指定重要文化財 旧足守藩侍屋敷



真庭市立河内小学校5・6年生

県指定名勝 岡山市 近水園

美作
コース
H19.10.4

弥生の暮らしを知ろう

両宮山古墳は?

- 近くで見るととても大きかった。
- 古墳の中は森みたいだった。
- 堀があって湖の中に浮いているみたい。

- 古墳に葬られるような王になってみたい。
- 埴輪を作りたい。
- この時代の服を着て、ごはんを食べたい。

タイムスリップ!!

古墳の中は?

- コウモリがいた。
- こんな広い石の部屋があるなんて。
- 暗くてこわかった。



岡山市 国指定史跡 牟佐大塚古墳



美作市立英田小学校6年生

赤磐市 発掘調査現場

国指定史跡 赤磐市 備前国分寺跡

高梁
コース
H18.5.21

古代吉備王国をめぐる

国分寺の五重の塔がきれいだったよ。



けっこう登りはきつかった...



全国で4番目に大きな古墳、前方後円墳という形だ。



ほとんど、どこから見ても山に見えて古墳だと知ってびっくり。

つくりやまごふんです。

学芸員の先生と記念写真

古墳に登ってみたいよ

造山古墳は、岡山市新庄下にあり、大きさは約350mもある、日本では第4位、この古墳の形は前方後円墳というそうです。上から見ないとわからないけど、円と四角を組み合わせた形です。古代の吉備の国をおさめていた王のお墓といわれています。



大きな石棺、つまり石の“かんおけ”があった。

古墳をバックに、ハイチーズ!



この日は暑かったけれど、みんなでがんばって古墳のてっぺんまで登りました。学芸員の先生といっしょに古墳を勉強しました。博物館に行く途中で、吉備路の見学もしました。

高梁市内小学生・中学生

津山
コース
H18.7.9

鎌倉仏教にふれる

法然上人の産湯の井戸、とても深そうです。

広い境内の中には大仏様もいました。

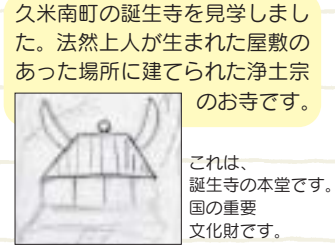


参拝の前には手を清めよう。

- 誕生寺で見つけたよ
- 井戸の深さは5メートル
- 850年の銀杏の木
- 伝説の片目のない魚

誕生寺に行きました。

岡山ゆかりの法然上人で有名なお寺です。今から800年以上も前に、法然上人がひらいた浄土宗という仏教についても勉強しました。浄土宗もふくめて、鎌倉時代にはたくさんの仏教が生まれたそうです。誕生寺の住職さんや学芸員の先生からわかりやすく説明をうけました。



本堂をバックに記念撮影



津山市内小学生・中学生

井原
コース
H18.8.26

近世山陽道をたどる

矢掛町の旧矢掛本陣へ行きました。

矢掛は山陽道の宿場町として栄え石井家は江戸の初めごろから本陣の役目をつとめていました。

本陣で何だろう。

昔の街道の宿場におかれた大名や公家、幕府のお役人といった身分の高い人たちの宿泊しせつだよ。参勤交代にも利用されたので大名宿とも言われました。



ここが玄関です。ちょっと、きんちょう...

よろしくお願ひします。



これから、本陣の説明を聞きます。

本陣、大きかったよ

たみが気持ちよかったですよ。



本陣は石井家という家が代々していたんだ。お酒づくりもしていたそうだよ。

ボランティアガイドの方に教えていただきました。

広いお屋敷の中には、部屋が数えきれないくらいありました。母屋、本陣、お店、お酒をつくる所などの部屋に分かれているそうです。国の重要文化財になっています。

最後にみんなで記念写真。



井原市内小学生・中学生

来て見て発見 博物館!

案内するよ!

- 四つの展示室 ● 体験学習コーナー
- 岡山の歴史と文化がわかる
- 見て、さわって楽しめる 本物のよろいもあるよ

岡山県のことがよくわかる

第1展示室(2階) 考古展示室



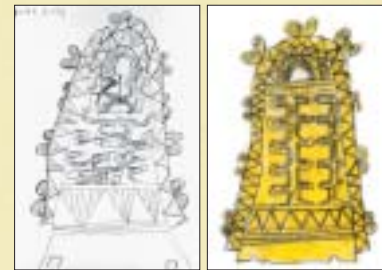
原始と古代の展示室だよ。考古の部屋だ。

縄文時代
弥生時代

化石や石器がいっぱいでした



大きな展示物も小さいものも大切に保存されてきたんだね。



ここが入口です。受付の方にもあいさつ!

土でつくられた棺おけがあるよ。とても重くてがんじょうだ。

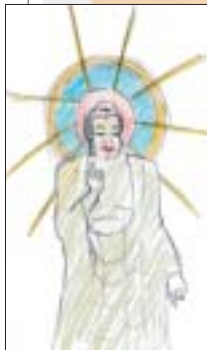


大きなガラスのケースにたくさん展示してありました。

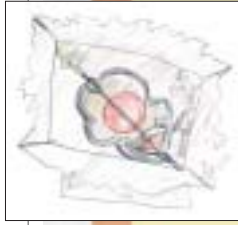
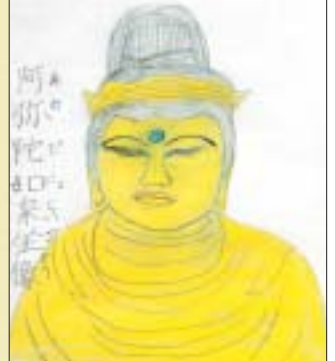
このコーナーではあるものにさわれるよ。さあ、なんでしょう?

展示内容は時期により異なります。また、特別展や企画展の場合も展示内容は異なります。

第2展示室(2階) 古代・中世展示室



お寺のかねが
おいてある。



岡山の仏教について勉強できるコーナーだ。



途中に階段があるよ。転ばないようにね。



ここにも岡山にゆかりのお坊さん。岡山県には歴史上の有名な人がたくさんいるよ。

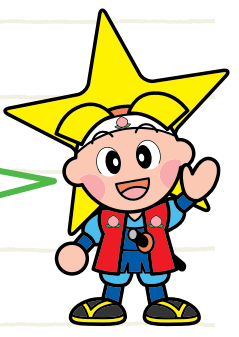


岡山にゆかりのある有名なお坊さん。中国のお茶を日本に広めた人です。誰でしょう。

すこし、こわい顔をしているけれど、大きな仁王像です。はくりよくいっぱいでした。



たくさんの文化財があるんだ! 岡山の歴史と文化が学べるよ!



第3展示室(1階) 近世・民俗展示室

昔の民家の一部が
展示してあるよ。



高瀬舟といって
博物館の中でいちばん
大きいものだよ。でも、
どうやって入れたの
だろう？



魔鏡という
ふしぎな鏡が
あったよ。

展示室って
なんだか暗いなあ！
どうして？

文化財を
光から守る
ためだよ。



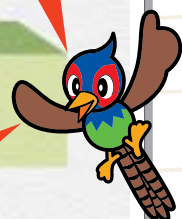
昔の染め物だ

城下町、岡山の
歴史がよくわかるよ。
でも、昔の文書はなかなか、
読めないなあ。

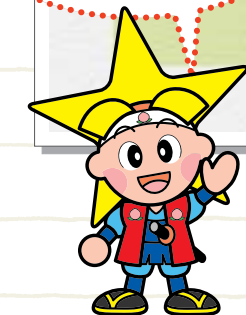
展示室は
とても広いし、
展示物もたくさん、
あるなあ。



ここは、近世と
民俗に関する
展示室だよ。



民俗の資料というのは昔の
人たちが使っていた道具などだよ。
昔のくらしが見えてくるよ。

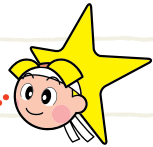


この表示に
そって
順番に見てね。

順路

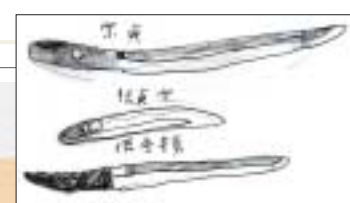


ロビーには
大きな備前焼も
あるよ！



第4展示室(1階) 備前刀と備前焼

本物だよ！



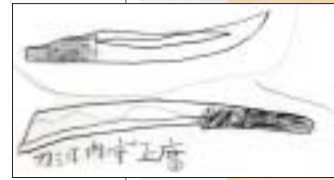
太刀・短刀・脇差し刀…
かたなといっても、いろいろな
形や種類があるんだなあ。



刀につけて
つかう道具だよ。
つばといいます。



刀の作り方が
展示してあるよ。

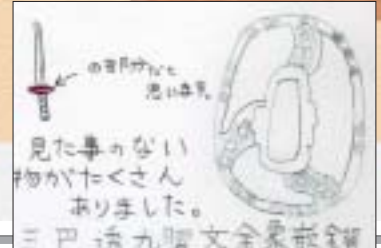


この展示室には
刀と備前焼が
たくさんあるよ。



ここも、しっかり
見てね。受付の方
にもあいさつ！

展示ケースの
中には、すごい刀が
光っているよ。



きれいな
とっくり！



備前焼の大皿だ！

国宝の
よろいかぶと
だよ



平常展では
いつでも名品を
展示しているよ。
みんなで
遊びに来てね！



県立博物館を見学したよ!

- 展示物は1ヶ月ごとにかわっているんだ。
- 学芸員の先生はいつも文化財のことを考えているんだ。
- 国宝の文化財って1年間にたった2週間ぐらいしか展示ができないんだ。
- 2500kgまで耐えられるエレベーターはすごかったよ。
- 博物館には1万をこえる文化財があるんだよ。
- 博物館の警備の人は、24時間、交替で文化財を守っているのだから。

- 学芸員の先生しか入れない秘密の場所もあったよ。
- 古墳時代の前の時代の物が見えました。
- 大きな三重塔があったよ。
- 一つ一つのかけじくには細かい字がたくさん書いてありました。
- 備前焼で、ねこやにわとり、馬が作れるなんてすごいなあと思いました。
- 私は歴史が好きだから、ツアーはとってもうれしかったです。



- 学芸員の先生は忙しそうだったけど、ときばきしていた。
- 虫がついたりしないように、調査をきちんとしないといけないことがわかった。
- エレベーターの床は重さによって、高さを調整しているのすごいなあと思いました。
- 資料をたくさん見たけど、昔の人が作ったとは思えない作品ばかりでした。

- 印象に残ったのは刀です。見る角度を変えると、色や光っているところが変わりました。
- 文化財はとってもいい匂いにとりあつかわないといけないんだ。
- 博物館の仕事って、思っていた以上に大変なんだ。
- 刀や、つぼ、どれもすごかった。思い出になりました。
- 今度、博物館へ来たなら、もっと時間をかけて見たいです。

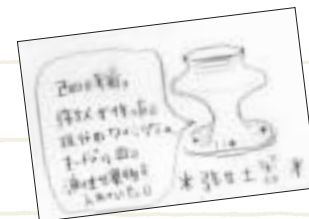
ぼくたち、わたしたちが博物館で選んだベスト3

- 第一位 光かがやく日本刀
- 第二位 備前焼の大きな壺・三重塔
- 第三位 銅鐸・ナウマン象の骨・陶棺



- 学芸員の先生の部屋にたくさん本があってびっくりしました。
- 休むひまもなく働いているようでした。思った以上に大変。
- わかりやすく教えてくれた。
- 学芸員の先生たちののおかげで、博物館は文化財をきちんと守っているんだなあと思いました。

- 運んできた資料の虫を殺したり、カビをとったりすることも大切な仕事だということを知りました。
- 見たことのない本物を見るのができてよかったです。
- 博物館のいろいろな設備を見せてもらえてよかったです。
- いろんなところへ出張しないとイケなくて大変そうだ。



「吉備の国歴史探検ツアー」を終えて

平成18年度より3ヶ年の計画ではじめました「吉備の国歴史探検ツアー」も最終のコースまで無事に終わることができました。岡山県立博物館へは年間を通じて、県内の小中学校を中心に学校教育活動の一環として、多くの児童生徒が訪れます。展示会の展示を見学したり学芸員の仕事や博物館を裏側から見てもらったり、館内で専門分野の授業を受けて、子どもたちは大きな学びと発見をして帰っていきました。当館で実施している館内授業、出前授業は県内小中学校から多くのご依頼があり、できる限り対応していますが、その都度思うことは、実物以上の教材にまさるものはないということです。子どもたちは実際の考古資料・美術・文書資料・民俗資料・刀剣・工芸品などを前に目を輝かせていました。

この3ヶ年のツアーは、日頃、県立博物館へ訪れる機会の少ない地域の子もたちが県内の史跡を直接見学し



考古分野での出前授業・館内授業

たり、博物館で実物資料を学習しました。これがきっかけとなり、再び博物館へ来てくれるように願ってのことでした。振り返りますと企画の立ち上げ時は、子どもたちへの事前の学習課題の検討、ツアーのしおりの作成、行程の検討などに苦慮しましたが、当日を迎えて、子どもたちの生き生きとした笑顔に疲れも吹き飛ばすほどでした。見学先の各史跡では関係者から丁寧な解説もいただき、子どもたちの理解もすすみました。関係市町村、関係機関、関係各位に改めて感謝申し上げます。

本県の事業としての「吉備の国歴史探検ツアー」はひとまず終了いたしますが、岡山県立博物館では名称は変更しますが、この事業を継続し、学芸員解説による史跡学習や博物館の見学を実施する計画です。当館ホームページ上の教育普及事業案内の項目を御参照ください。

岡山県立博物館 学芸課 教育普及事業担当



備前焼を見ながらの館内授業



館内授業「体験！むかしの暮らし」